

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 放課後等デイサービス ハレノヒ		公表日		R7年 1月 16日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		狭いスペースだがプレールームの部屋もパーティションで区切るなど落ち着いて個々の活動ができるようにしている。	保育園との共有スペースである園庭はあるが室内のスペースが限られるので思いっきり体を動かしたり遊びのびのび過ごせる場所も必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		活動内容、年齢等で支援にあっている。	どんな小さい事でも声を掛け合い、より職員間の連携をとっていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		階段があるので、安全に登り降りをするよう職員の立ち位置に配慮している。	手洗い場が小さいのでうがい難しい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		個別支援を受けるスペース、リラックスできるスペースを分けている。	静と動の遊びのスペースの作り方	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティションの利用、落ち着いて過ごせるように視覚的情報軽減に努めている。	出入口の安全確保	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		ケース会議で職員間の情報共有を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		茶話会で保護者の方の交流、意見交換の実施した。今年度初めてなので評価の結果をうけて、業務改善につなげていきたい。	今後も家族との連携をしながら、改善点を把握し改善に努める。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ケース会議で行っている。	全職員が揃った環境での情報共有をもつようにする。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修や施設見学等で学びの時間を作っている	専門的知識を深め、質の向上に向けての研修に取り入れたい。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		一人ひとりにあった支援プログラムを作成している。	現在作成中です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	○		モニタリング時に面談しケース会議を開催。それをもとに作成している。		
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ケース会議にとどまらず、サポート教材の準備等の際など日頃から報告・連絡・相談を行っており、担当者会議を行い、作成している。		
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		情報共有しながら支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ケース記録や担当者会議を元に作成している。		
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			現在は、「家族支援」の要望がなく「本人支援」が主になっているが今後は「家族支援」「地域支援」にも力を入れて行きたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員会議で立案・役割・分担、協力を行っている。	行事等、子供たちにわかりやすく伝える方法を考えていく。	

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		継続することの大切な部分と変化を取り入れる部分を大切にしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	○		スペースを分けて、個々に応じた支援を行っている。	スペースに限りがあるので、活動によって、それぞれがより落ち着いて集中できる環境に工夫をしていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援内容が変わったり、つまずいたりした時は職員間で相談して進めて行く。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		業務日誌等で確認はできる。気づいた点、共有しなければいけない点をは共有している。	帰りの送迎等で全員が揃うことが難いため、改善していきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		検証を行っているが、支援に取り入れたいグッズなどを作成している。	支援に必要なグッズ作成の時間を上手に確保していきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングを行った後、職員間で情報共有している。	報連相を密にしていきたい。
	24	<b>【放デイのみ】</b> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○			今後はもっと細かい支援を組み合わせていきたい。
	25	<b>【放デイのみ】</b> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動のプログラムを選択できるスケジュールを作っている。	個々に応じたやり方をより検証し実施していく
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		連携や今後の支援につなげるためにも参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		連携している。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		連携はしているがそのようなケースが現在ない。	今後あれば、支援につなげていきたい。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		同法人の保育園と園庭が共有のため、一緒に遊ぶ機会がある。	今後の課題として地域の方たちとの交流の場を作っていきたい
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		その日の様子をお伝えしたり連絡帳アプリを活用している。	支援内容の細かいところまで、共有していきたい。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			面談以外でも情報提供できる機会を作っていきたい。
	32	<b>【児発事業所・児発センターのみ】</b> 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			同法人以外のこども園等との情報共有がしていけたら思う。
	33	<b>【児発事業所・児発センターのみ】</b> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	34	<b>【児発センターのみ】</b> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		療育センターと連携し支援を共有している。	今後も継続し連携している。
	35	<b>【児発センターのみ】</b> 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部研修に参加している。	今後も積極的に参加し支援につなげていく。
36	<b>【児発センターのみ】</b> (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		こども部会に参加している。	今後も積極的に参加し支援につなげていく。	
37	<b>【放デイのみ】</b> 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との情報共有（学校での様子、行事での時間変更など）は行っています。	今後も関係機関との連携を図っていきたい。	

	38	<b>【放デイのみ】</b> 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		基本情報や相談員からの聞き取りで理解に努めている。	今後、情報共有を深めていきます。
	39	<b>【放デイのみ】</b> 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			今後、検討していく
	40	<b>【放デイのみ】</b> (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		こども部会に参加している。	今後も積極的に参加していく。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明させていただいています。	
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談で意向を聞き支援につなげています。	今後も継続していきます。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		お迎えや送迎時に説明させていただいています。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリングの面談時に行っている。	今後も継続していきます。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		将来通うであろう作業所の現実や先輩ママから学ぶ機会を作っている。	今後も計画し実施していきたい。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情等は、対応体制を整え、玄関に掲示している。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期通信・SNSで発信。連絡帳はアプリで対応している。	引き続き行い、よりよい方法があれば取り入れていきたい。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		同意書をお願いし、鍵のかかる書庫で管理している。	今後も継続していきます。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		親の思い、悩みを抱えている方の気持ちを大切に連携している。	引き続き配慮していきたい。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			今後、状況に応じて考えていきたい。
	51	<b>【放デイのみ】</b> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			現在、そのような相談はないがあれば迅速に対応していく。
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		契約時にマニュアルが策定していることを説明し、研修・避難訓練を実施しています。	今後も継続していきます。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		契約時にマニュアルが策定していることを説明し、研修・避難訓練を実施しています。	今後も継続していきます。また、振り返りも活かしていきたい。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		児発は、予防接種の記録を頂いています。放デイ・児発ともに服薬があれば処方箋をいただいています。	今後も継続していきます。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			アレルギーの子があれば職員間で共有する。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			気づきがあれば職員間で共有する。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急連絡網の作成、保管場所の共有。	今後も職員間で連携していきたい。

58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			再確認し、対応できるようにしていく。